

2025年12月3日

各位

香川県立丸亀競技場ネーミングライツ取得に関するお知らせ 地域によりよい「巡りを」もたらすスタジアムに「四国化成MEGLIOスタジアム」

四国化成ホールディングス株式会社〔本社：香川県丸亀市、代表取締役社長：渡邊充範、以下当社〕はこの度、香川県が募集していた香川県立丸亀競技場のネーミングライツのスポンサー企業に選定され、同競技場の新たな愛称が「四国化成 MEGLIO（読み方：メグリオ）スタジアム」に決定いたしましたのでお知らせします。

■ネーミングライツ取得の目的と背景

当社は1947年に香川県丸亀市でレーヨンの原料である二硫化炭素の製造から事業をスタートし、地域の皆さまの支えのもと発展してまいりました。創業78年の今も丸亀市に本社を構え、多くの従業員が香川県内で暮らしております。香川県に根差す企業として、地域への貢献を一層強化したいという想いが今回のネーミングライツ取得の原動力となりました。

また、当社は毎年2月に開催される香川丸亀国際ハーフマラソン大会の特別協賛を通じて、様々な形で地域の皆様と共に大会を盛り上げてまいりました。ネーミングライツの取得は、本大会及び他の地域スポーツへの更なる支援となり、地域活性化の一助につながると考えています。

■契約概要

(1) 対象施設	香川県立丸亀競技場（丸亀市金倉町 830）
(2) 施設愛称	四国化成 MEGLIO スタジアム*
(3) 契約期間	2026年1月1日から2030年12月31日（5年間・予定）

*MEGLIOは半角表記

■「MEGLIO」に込めた想い



今年、当社建材事業のパーパスブランドとして立ち上げた「MEGLIO」をスタジアムの愛称に取り入れました。「MEGLIO」はイタリア語で「より良い（better）」を意味し、「人や自然の巡りを、よりよくすることで、いつもの場所を価値ある空間にていきたい」という想いを込めています。当社建材事業では、人の暮らしや自然の中に、そっとあり続ける商品作りを目指しています。「MEGLIO」の名を冠することで、このスタジアムがスポーツを通じた交流や活気、感動を生み出し、世代を超えて長く愛される“よりよい巡り”的場となることを願っています。

「MEGLIO」について
詳しくはこちら



当社グループは2030年にありたい姿を示した長期ビジョン「Challenge 1000」を掲げ、その活動方針をお客様・従業員・株主に社会を加えた「四方よし」の実現としています。毎年2月に開催される「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」では、当スタジアムがスタート・ゴール地点として活用されており、2026年の大会は「四国化成 MEGLIO スタジアム」として初めてのホスト大会となります。当社グループは、社会と共に生きる企業として、これからも地域社会の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

以上

このリリースに関するお問い合わせは 四国化成ホールディングス株式会社 経営企画室まで
TEL. 0877-21-4119